

大豆奨励品種「東山168号」

農業センター・古川農業試験場

1 取り上げた理由

宮城県の転換畑において主として栽培されている「タンレイ」は、中生で、外観品質良好で、加工適性も優れ、宮城県の銘柄大豆として「ミヤギシロメ」とともに高い市場評価を受けている。今後、米の生産調整の展開とともに転換畑における良質大豆の安定生産は一層重要になってくるものと考えられる。しかし、「タンレイ」は収量がやや不安定であること等から、品質の良い安定多収品種が望まれている。「東山168号」は、開花期、成熟期が「タンレイ」と同程度の中生で、ダイズモザイク病抵抗性が“強”で、「タンレイ」より多収であり、外観品質は「タンレイ」並に良質で、豆腐・味噌加工適性も良好である。中生良質大豆の安定生産を図るため、「東山168号」を奨励品種とし、普及技術とする。

2 普及技術

1) 来歴

大豆「東山168号」は、昭和58年に長野県中信農業試験場（農林水産省大豆育種指定試験地）において、ウイルス病抵抗性を有する早生で晩播栽培適性の高い良質多収性品種育成を目的として「東山124号」（のちのハウレイ）を母、「エンレイ」を父として人工交配を行って育成された系統である。

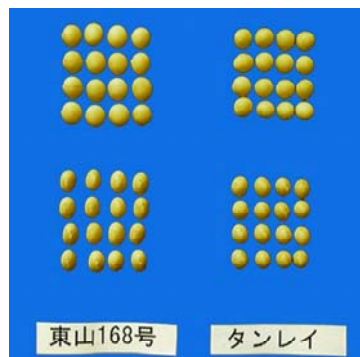
平成6年から「東山168号」の系統名で宮城県に配布され奨励品種決定調査に供試し、検討されてきたものである。

2) 特性の概要

- 開花期、成熟期は「タンレイ」と同程度で、宮城県では「タンレイ」並みの“中生”である。
- 主茎長、主茎節数、分枝数、最下着莢高は「タンレイ」と同程度。
- 子実収量は「タンレイ」より多い。
- 晩播適応性が高い。
- ダイズモザイク病抵抗性は“強”でダイズモザイクウイルスのA、B、C、D病原系統に対して抵抗性である。
- 外観品質は「タンレイ」と同程度に優れる。
- 豆腐・味噌加工適性は「タンレイ」、「エンレイ」並に優れる。

3) 対象地域等

- 普及見込み地帯
山間高冷地を除く県下一円
- 普及見込み面積
約300ha



3 利活用の留意点

1) 栽培法はタンレイに準じる。

2) ダイズシストセンチュウ抵抗性は“弱”なので汚染圃場への作付けは避け、水稻、麦類等との輪作体系に組み込む。

（問い合わせ先：農業センター農産部 電話022-383-8119）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間 大豆奨励品種決定調査 農業センター 平成6～10年
古川農業試験場 平成8～10年

2) 参考データ

a 特性一覧

系 統 名	東山168号	交配組合せ	東山124号 (ホウレイ) /エンレイ		
特 性	長所 1. 安定多収である。 2. 豆腐・味噌加工適性に優れる。 3. ダイズモザイク病に抵抗性である。		短所 1. ダイズシストセンチュウ抵抗性弱		
調 査 地	宮城県農業センター				
播 種 期	標 播		晩 播		
調 査 年 次	平成6～10年		平成8～10年		
系 統 名・品 種 名	東山168号	タンレイ	東山168号	タンレイ	
早 晩 性	中生	中生	中生	中生	
開 花 期(月・日)	8. 1	7. 31	8. 9	8. 8	
成 熟 期(月・日)	10. 22	10. 21	10. 29	10. 26	
主 茎 長 (c m)	64	63	67	69	
主 茎 節 数(節/株)	13. 0	12. 0	13. 5	13. 2	
分 枝 数(本/株)	4. 6	4. 6	3. 1	3. 5	
最 下 着 莢 高 (c m)	12. 2	12. 7	14. 0	14. 4	
生育中 の障害	倒 伏 蔓 化 立 枯 れ	微 微 無	微 無 無	微 無 無	
子実重	(kg/10a) (対 比) (%)	397 133	298 100	324 119	273 100
百 粒 重(g) (対 比) (%)	36. 6 111	33. 0 100	35. 5 111	32. 0 100	
障害粒 の程度	紫 斑 褐 斑 裂 皮	微 微 微	微 微 少	— — —	
粗 蛋 白 質 (%) ※	42. 3	41. 1	—	—	
粗 脂 肪 (%) ※	19. 0	19. 0	—	—	
粗 品 質	中の上	中の上	中の上	中の上	
病 害 抵 抗 性	ダイズモザイク病 ※ ダイズシストセンチュウ ※※ 立枯性病害 ※ (黒根腐病) 紫 斑 病 ※	強 弱 中 中	中 弱 強 中	— — — —	

注) ※は育成地及び特性検定地における評価。※※は育成地における評価。
標播：5月24日～29日，晩播：6月24日～27日

b 加工適性

系統名または品種名	東山168号	タンレイ	エンレイ※
豆 腐 味 噌	適 適※	適 一	適 適

注) ※は育成地産を使用 (T社, 平成10年)

3) 発表論文等 なし